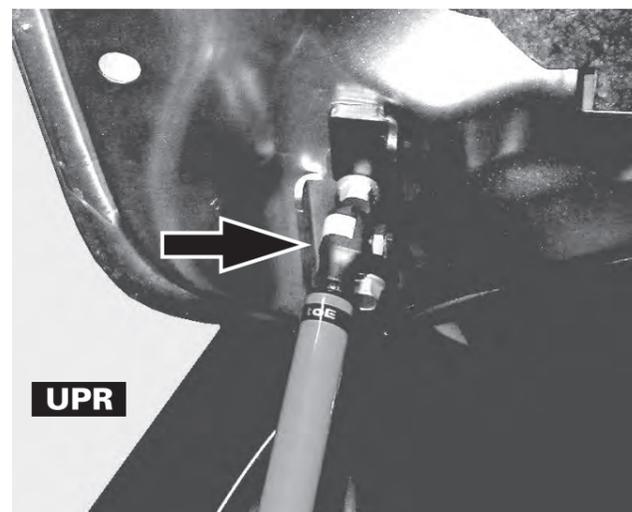
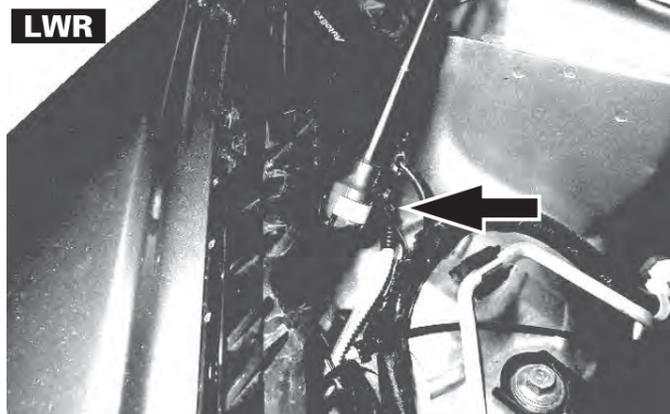


7

ボンネットロックステーを解除し、各ブラケットのボールピボットに①ガスダンパー両端のピボットケースを押し込んで装着します。



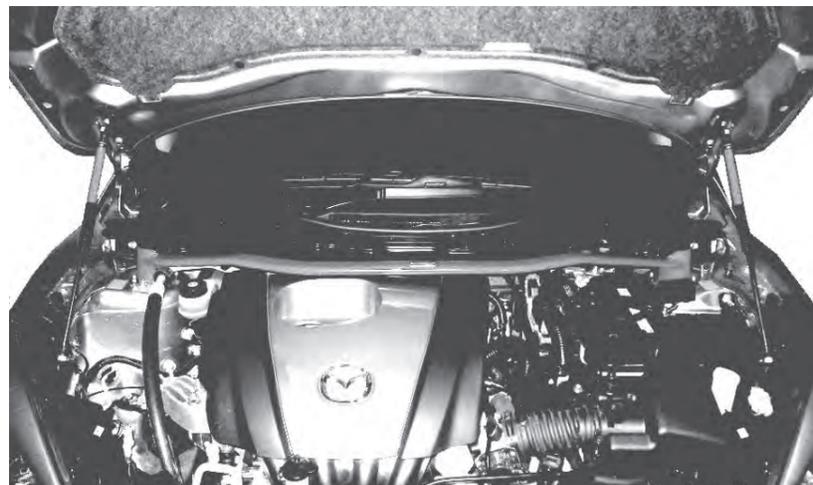
UPR



LWR

8

1. 全てのネジの締め忘れが無いかを確認します。
2. ボンネットを上下させ、スムーズに動く事を確認して下さい。
3. ボンネットを閉める際には、開閉角の60%下げた状態で急激にガス圧が低下する位置がありますので、この位置からボンネットを落下させて閉めて下さい。

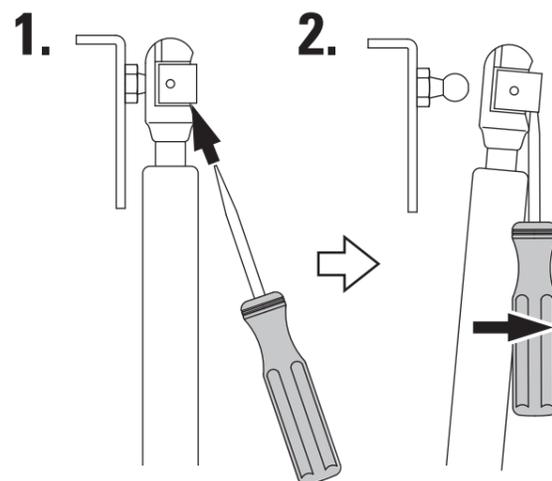


ガスダンパー取外しに関して

ガスダンパーの上下を間違えたり、補修品に交換する等の脱着作業が必要な場合には、以下の要領に従いボンネットダンパーを取外して下さい。

ガスダンパーを取外す場合、

1. マイナスドライバーを先端の金具とプラスチックの部品のギャップに差し込み
2. ガスダンパーとマイナスドライバーを矢印の方向に引っ張り取外して下さい。



※ガスダンパーにガス圧がかからないようにボンネットを軽く持ち上げると、ボンネットダンパーのブラケットに力をかけず、マイナスドライバーだけを矢印方向に引っ張るようにするのがコツです。

※ ジョイント部の破損に注意して下さい。

Bonnet Damper ボンネットダンパー No.MDE2960A 取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1
Tel. 03-3531-8151 Fax. 03-3531-8152

この度はオートエクゼ“ボンネットダンパー”をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、取り付けの際には本書に従って作業を進めていただきます。また、作業終了時には本書を必ずお客様にお渡し下さい。

適合車種

デミオ DE系



ご注意（作業者および使用者の方へ）

本製品を適合車種以外に使用しないで下さい。破損したり脱落し重大な事故に繋がる恐れがあります。
本製品を加工したり、改造しないで下さい。破損したり脱落し重大な事故に繋がる恐れがあります。
取り付けは、作業に適した平らな場所で行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
取り付け時は、車止めをし作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
取り付け時は、車が冷えた状態でエンジンを止め、作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
取り付け時は、キーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーの端子を外してから作業を行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
取り付け作業は必ず2人以上で行って下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
本製品をご使用中は、定期的に製品の状態を確認し、異常が認められた場合は使用を中止して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
ボンネットの開閉時は作動範囲内の安全を確認して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
ガスダンパーは経年変化によって反発力が低下します。反発力が低下した場合は補修用ガスダンパー(別売)と交換して下さい。重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
火中に投げると高温によりオイルやガスが急激に吹き出し、けがをすることがあります。
分解したり切断したりしないでください。押しつぶさないでください。高圧の窒素ガスが封入されているため、シリンダー内のオイルやガスが急激に吹き出したり、ロッドが急激に飛び出し、重大な事故や死亡事故に繋がる恐れがあります。
汚れた場合はかわいた布で優しく拭いて下さい。シンナーやベンジン等は使わないで下さい。
ガスダンパーは、完全密封容器ではないために自然放置状態でもシールからの透過現象による微少なリークがあり、使用年数が経過するにつれ、反力が低下します。
ガスダンパーに強い衝撃を与えないでください。ロッドの曲がりやシリンダーチューブの凹みなどを生じ作動不良の原因となります。
ロッドに傷、打痕や塗料などの凹凸をつけないでください。また、ロッドに錆を生じさせないように注意してください。シールが損傷し、反力低下の原因となります。

ガスダンパーは必ず太い側が上になるように取り付けして下さい。
向きを逆に付けると、ボンネットが破損します。

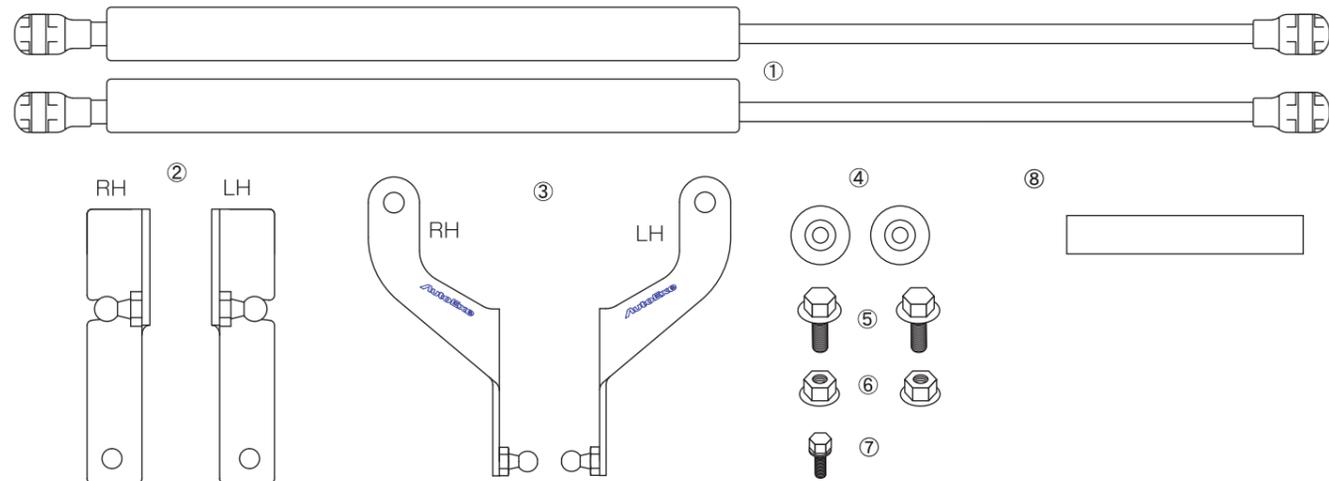


ご注意（使用者の方へ）

ボンネットの開閉は丁寧に行って下さい。本製品を装着することによってボンネットにかかる力が変化し、ボンネットが変形する事があります。1度でもヒンジ部に無理な力がかかると取り付け面が変形しボンネットが浮いた状態になることがあります。このような状態になった場合も当社は一切保証しかねます。
上記の内容を納得された上で、ユーザー様のご責任の範囲で正しくお使い下さい。
また、本製品を使用した事に依って発生したいかなる車輛の不具合も当社は一切保証しかねます。

構成部品

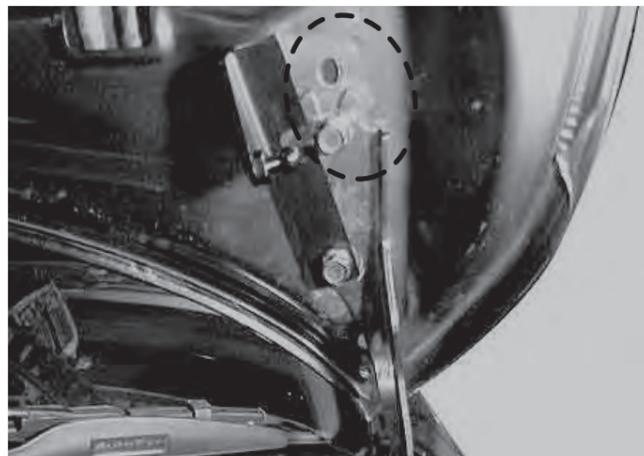
No.	部品名称	仕様	数	No.	部品名称	仕様	数
①	ガスダンパー	高圧窒素ガス封入式	2	⑤	フランジボルト	M8	2
②	マウントブラケットUPR LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1	⑥	フランジナット	M8	2
③	マウントブラケットLWR LH/RH	スチール製黒亜鉛メッキ	1/1	⑦	アプセットボルト (予備)	M6	1
④	フランジスペーサー	アルミ アルマイト黒	2	⑧	透明保護テープ		1



装着手順

1 ※以下装着手順画像は右側を示しています。
左側も同様に作業して下さい。

1. ボンネットを開けて、ボンネットロックステーをかけます。
2. ボンネットとボンネットヒンジを固定しているボルト2個の内の下側のボルトを完全に取外します。
3. ②マウントブラケットUPRの裏側に貼付してある両面テープの剥離紙を予め剥がしておきます。
4. ②マウントブラケットUPRを2.で取外したボルトで軽く締め込み、仮組みします。
5. ボンネット裏側の破線部分を中性洗剤の水溶液等を使用して脱脂します。



2 ボンネットとボンネットヒンジを固定している上側のボルトを緩め、②マウントブラケットUPRを挟み込み固定します。

締め付けたトルク 20N・m



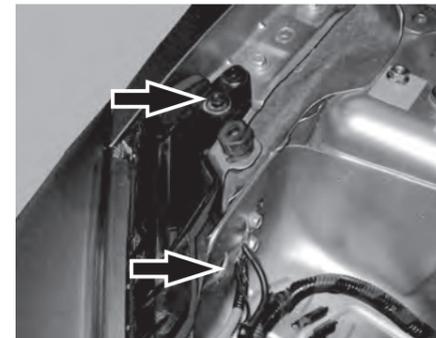
3

右写真の斜線部を中性洗剤等で脱脂した後、⑧透明保護テープを40cmの長さにカットして斜線部に貼付し、ボンネットとマウントブラケットLWRとの接触から保護します。



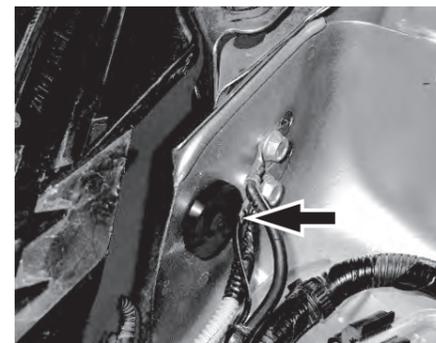
4

右写真の参考に、ヘッドランプユニット固定ボルトとホイールエプロンパネルのブランクホール2箇所を使用して、マウントブラケットLWRを取付けます。



5

④フランジスペーサーをあらかじめブランクホールに嵌め込んでおきます。その際、車両個体差により④フランジスペーサーが緩くて落下する場合は、両面テープなどを併用して保持しておきます。



6

右図を参考に③マウントブラケットLWRを取付けます。マウントブラケットの取付穴は車体の個体差を考慮して大きめの穴が開けられています。

取付けの際には純正ボルト、および⑤⑥のボルトナットを一旦仮組みし、③マウントブラケットが車面に対して一番下側に取付けられるように、下に押し付けた状態で本締めします。

※ヘッドランプユニット固定ボルトは、年式等により長さが短い場合があります。純正ボルトの長さが短く締めきれない場合は、⑧アプセットを使用して取付けます。

締め付けたトルク
ヘッドライトユニット固定純正ボルト 5N・m
⑤⑥フランジボルト・ナット 12N・m

